

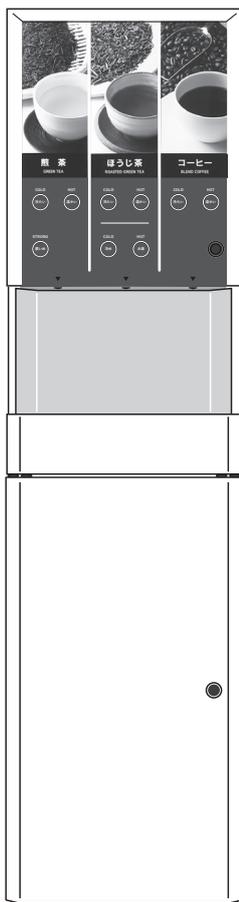
Cutea キューティ

タニカティーサーバー

【MODEL TS-1】

専用キャビネット 【MODEL CB-1】

取扱説明書



安全上のご注意	2
各部名称	4
設置方法	6
設定方法	8
パウダーの補給方法	13
給水タンクの給水方法	14
排水タンク(オプション品)の排水方法	16
注出方法	18
メンテナンスサイト	19
お手入れ方法	
外観清掃	20
カップステージ	20
キャニスタパイプ・キャニスタ	21
ミキシングボウル・排気ダクト・ファンフィルター	22
リンスクリーニング	24
浄水フィルター交換	25
コンプレッサーの点検	25
長期保管時・引き上げ時のお手入れ	26
トラブルシューティング	27
仕様	28

● 本製品を末永く、より良い状態で正しくお使いいただくために、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

TANICA

Made in JAPAN
220322 Ver.1.1

安全上のご注意

はじめにお読みください

● 絵表示について

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。	 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
--	---	--	--

絵表示の例

	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。
	●は強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。

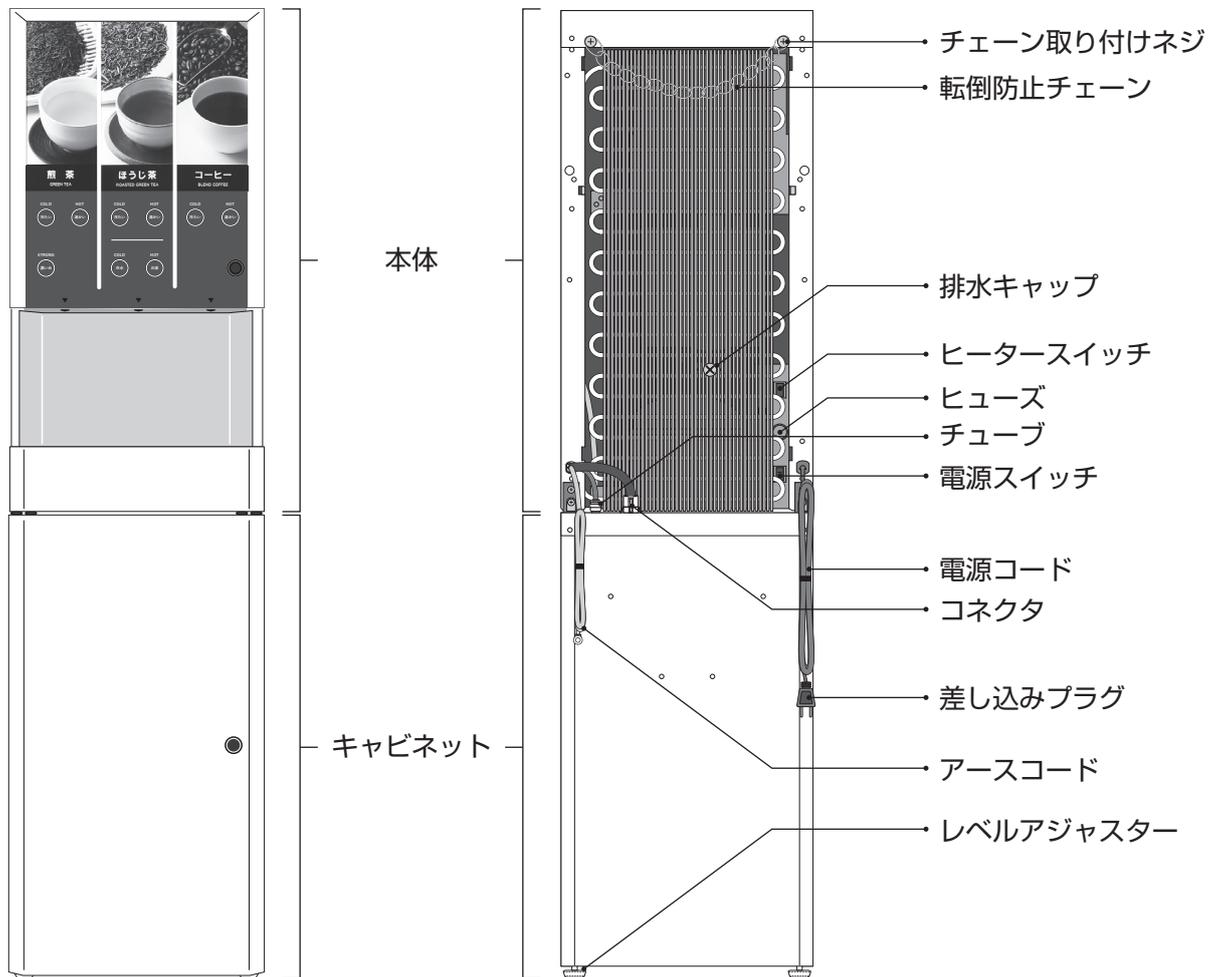
 警告	
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理改造は行わないでください。 異常動作して発火・けがをすることがあります。	 湿気の多い場所で使用したり、水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・感電の恐れがあります。
機器を落としたり、衝撃を与えないでください。 火災・感電の恐れがあります。	 濡れた手で機器を使用しないでください。 誤作動、感電の恐れがあります。
日本国内のAC100V 50/60Hz 12A以上のコンセントに単独で接続して使用してください。 火災・機器の故障の原因になります。	 電源コードのコンセントの差し込みが緩い場合はコンセントからプラグを抜いて使用しないでください。 火災・機器の故障の原因になります。
動作中は機器内部に触れないでください。お手入れ等は電源を切って行ってください。 けが、感電の恐れがあります。	 電源コードを傷つけたり、ねじったり、加工したりしないでください。 火災・機器の故障の原因になります。

⚠ 注意

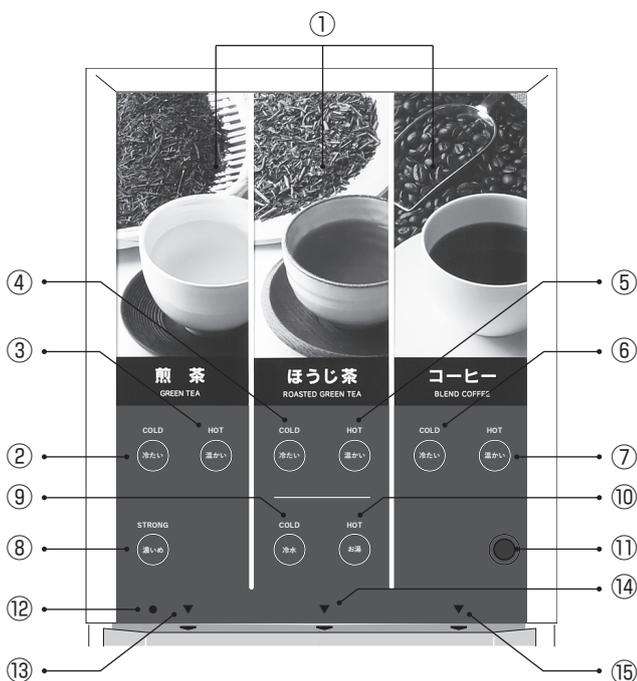
<p>電源コードを引っ張って差し込みプラグを抜かないでください。 コードが破損し、火災・感電の恐れがあります。</p>		<p>熱湯が出ることがあります。 ご注意ください。 やけどの恐れがあります。</p>	
<p>本体に転倒防止チェーンを必ず取り付けてください。 本体が転倒し、火災・感電・けがのおそれがあります。</p>		<p>アース線を建物のアース端子に接続してください。 火災、感電の恐れがあります。</p>	
<p>キャニスタ等に推奨する原料以外のものを入れないでください。 機器の故障や衛生問題の原因になります。</p>		<p>部品の洗浄や原料、カップ等の衛生管理には十分ご注意ください。 衛生問題の原因になります。</p>	
<p>水道法の基準を満たした水道水を使用してください。 機器の故障や衛生問題の原因になります。</p>		<p>子供だけで使わせたり、乳幼児の手が届かないようにしてください。 けが・やけどの恐れがあります。</p>	
<p>熱の影響を受けやすい所、直射日光を受ける所や、レンジ・ストーブ・コンロ等の熱源の近くには設置しないでください。 機器の故障、変色、変形の原因になります。</p>		<p>キャニスタやミキシングボウルの洗浄に自動食洗器や食器乾燥機を使用しないでください。 熱で変形等の恐れがあります。</p>	
<p>製品に対して平坦な場所に設置してください。 倒れてケガをしたり、機器の故障の原因になります。</p>		<p>お手入れにはクレンザー、シンナー、ベンジン等を使用しないでください。 変形、変色の原因になります。</p>	
<p>製品の上に乗ったり、ものを置かないでください。 けが・やけどの恐れがあります。</p>		<p>毎日ポリタンク内の水を入れ替えてください。 機器の故障、衛生問題の原因になります。</p>	
<p>長期間使用しない場合は製品内から水、原料を抜いてください。 原料が固まり、機器の故障、衛生問題の原因になります。</p>		<p>キャニスタの中に原料を入れたまま電源を切って放置しないでください。 原料が固まり、機器の故障、衛生問題の原因になります。</p>	
<p>5℃～35℃の環境でご使用ください。 機械の故障の恐れがあります。</p>		<p>注出ボタンは濡れた状態で放置しないでください。 表面スイッチが濡れていると誤動作につながります。</p>	

各部名称

● 本体名称



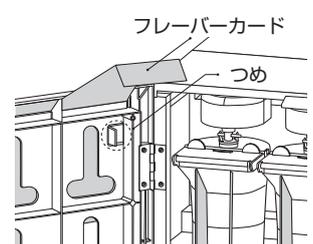
● 操作部名称



- ① フレーバーカード
- ② コールド1ボタン
- ③ ホット1ボタン
- ④ コールド2ボタン
- ⑤ ホット2ボタン
- ⑥ コールド3ボタン
- ⑦ ホット3ボタン
- ⑧ パウダー増量ボタン
- ⑨ 冷水ボタン
- ⑩ 熱湯ボタン
- ⑪ 扉鍵
- ⑫ 明かりセンサー
- ⑬ 注出口1
- ⑭ 注出口2・湯水注出口
- ⑮ 注出口3

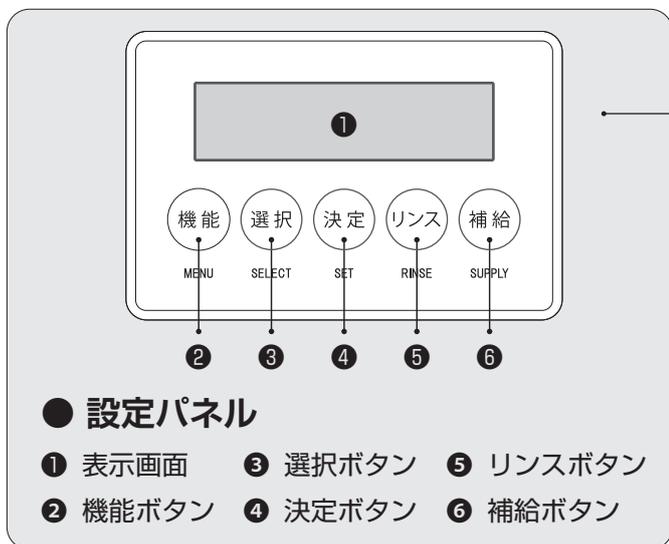
フレーバーカードのセット

本体扉の裏のカードホルダーにフレーバーカードを差し込んでください。入れづらい場合は扉のつめを横から押し持ち上げながら差し込んでください。



● 内部名称

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ① 本体フタ | ⑨ ミキシングボウル |
| ② キャニスタ | ⑩ カップステージフタ |
| ③ キャニスタモーター | ⑪ カップステージ |
| ④ キャニスタパイプ | ⑫ エア抜きバルブ |
| ⑤ フレーバーカード | ⑬ フィルターヘッド |
| ⑥ 中板 | ⑭ フィルター |
| ⑦ 本体扉 | ⑮ 給水タンク |
| ⑧ 排気ダクト | ⑯ 排水ロート・チューブ
(オプション) |



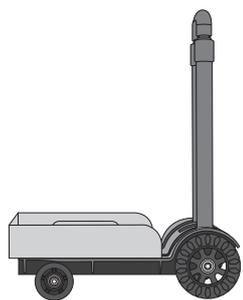
● 設定パネル

- | | | |
|---------|---------|----------|
| ① 表示画面 | ③ 選択ボタン | ⑤ リンスボタン |
| ② 機能ボタン | ④ 決定ボタン | ⑥ 補給ボタン |

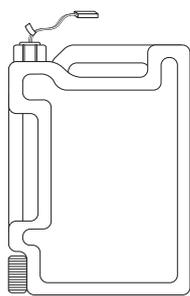
● 内部タンク内 DUV殺菌機能

製品内の内部タンクにDUV(深紫外線)による殺菌装置が搭載されています。(P12 参照)

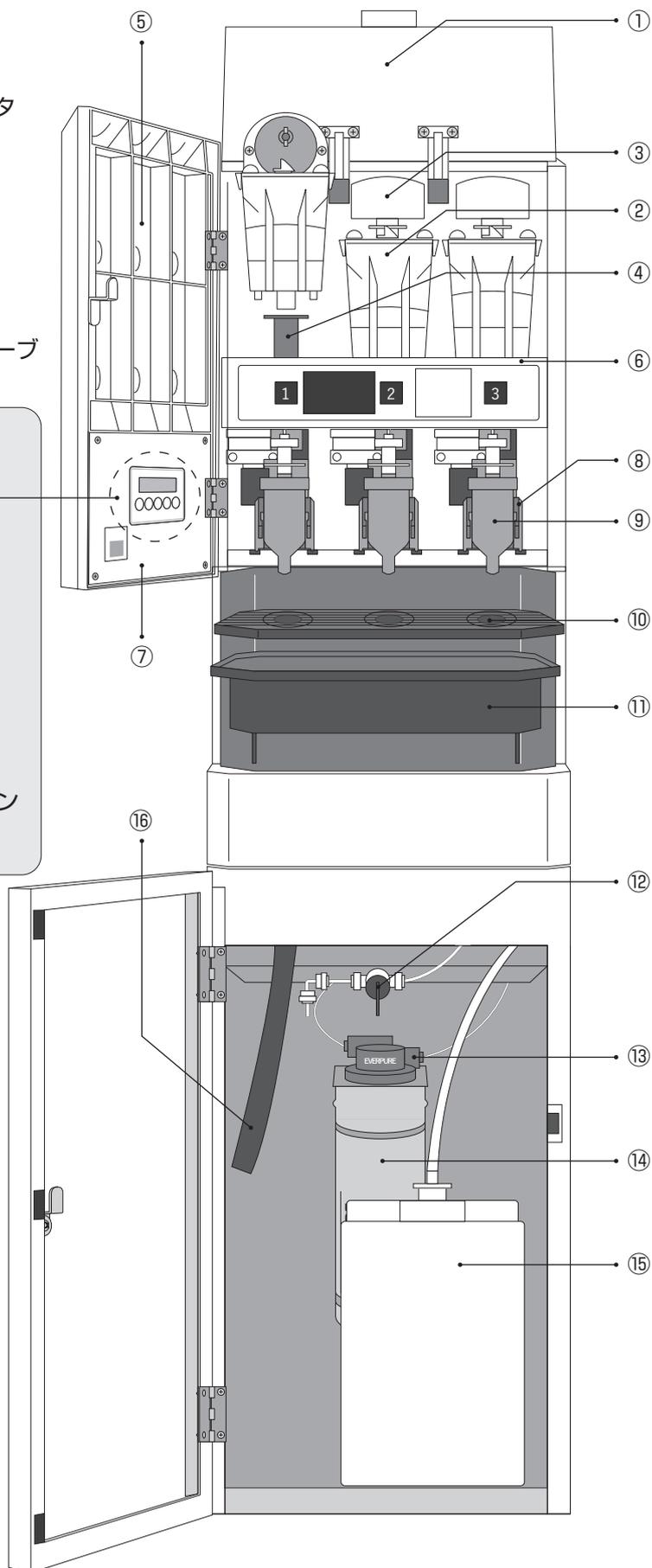
● オプション品



キャリーカート



排水タンク



設置方法

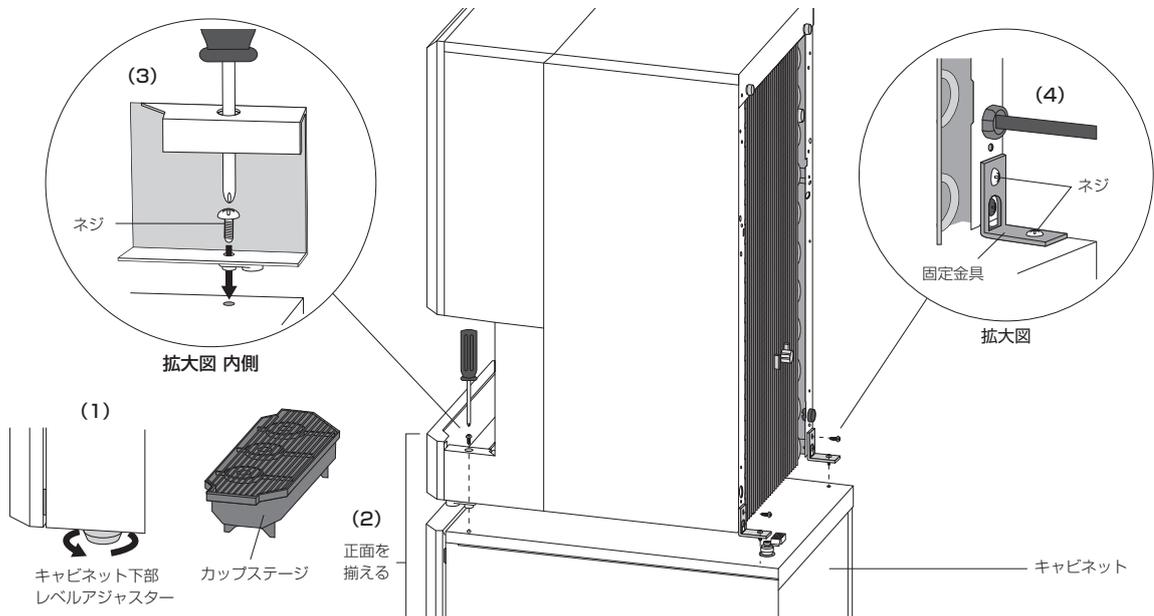
1

設置場所

- 屋内に設置してください。
- 熱の影響を受けやすい所、直射日光の当たる所や、レンジ・ストーブ・コンロ等の熱源の近くには設置しないでください。
- 水がかかるような場所には設置しないでください。
- 製品の裏側と壁の間は 10cm 以上離して設置してください。
- 平坦な場所に設置してください。

2

本体固定 (+ドライバーをご用意ください)



(1) 平行になるように調整

キャビネットを平坦な場所に設置して、キャビネット下部のアジャスター (4箇所) をキャビネット自身が床と平行になるように調整してください。※

(2) 本体とキャビネットの位置を調整

本体をキャビネットの上に乗せ、本体とキャビネットの側面と正面が揃うように位置を調整してください。

※キャリーカート (オプション) をご使用の場合、前側のアジャスターが低いとキャリーカートが前に移動してくる為、ご注意ください。

(3) ねじを差し込む

カップステージを外し、付属のねじを本体とキャビネットの穴に通して+ドライバーでねじ止めしてください。(左右2箇所)

(4) L字の固定金具を止める

付属のL字の固定金具を使用して、本体とキャビネットを図のようにねじ止めをしてください。(左右2箇所ずつ)

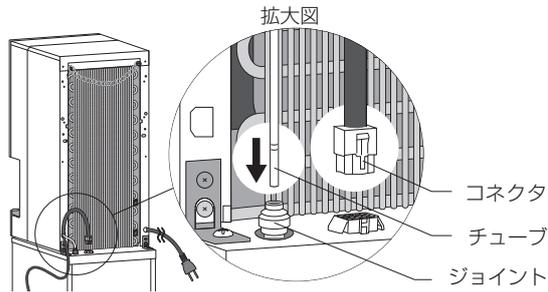


本体重量が 20kg以上ありますので取扱いにご注意ください。



3

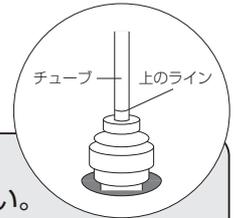
本体・キャビネット接続



- 本体裏側から出ているコネクタをキャビネットのコネクタに接続してください。
- 本体裏側から出ているチューブをキャビネットのジョイントに奥までしっかり差し込んでください。



チューブの差し込みは、下のラインが見えなくなるまで差し込んでください。



4

電源・電源コード

- 電源は AC100V、50 または 60Hz で、12A 以上の容量のコンセントから単独で使用してください。
- 電源コードや差し込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないでください。
- 電源コードは束ねた状態で使用しないでください。
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物を乗せたり、挟み込んだりしないでください。
- 電源コードを引っ張って差し込みプラグを抜かないでください。

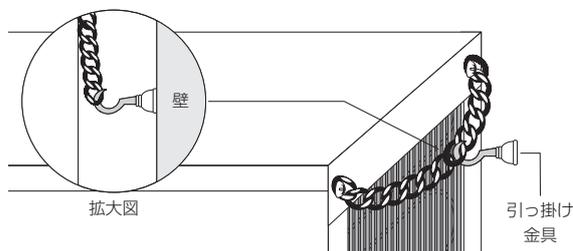
5

アース線

- 本体裏側にあるアース線を建物のアース端子等に接続してください。また、アースを取ることが出来ない場合は、漏電ブレーカーを取り付けてください。(漏電ブレーカーはご用意ください。)

6

転倒防止チェーン ※引っ掛け金具はご用意願います。



- 壁に引っ掛け金具を取り付け、製品裏側のチェーンを引っ掛けて固定してください。また、使用時や移動時などは製品を極力傾けないでください。
- 引っ掛け金具は別途ご用意下さい。

7

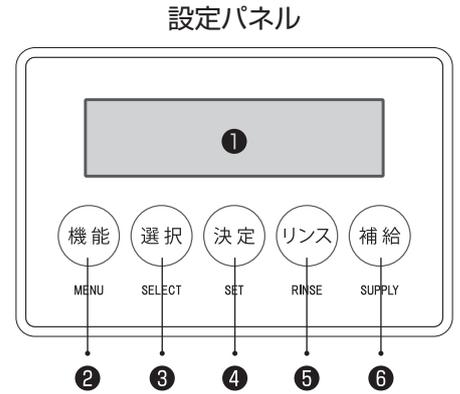
電源スイッチ・ヒータースイッチ

- 初めて使用する場合等、本体内に水がない状態（給水タンクより水を給水していない状態）でヒータースイッチを入れしないでください。給水タンクより給水した後、熱湯ボタンを押して注出口より水が少し出ることを確認してからヒータースイッチを入れてください。(P15 参照)
- 長期間使用しない場合は、電源スイッチ・ヒータースイッチをオフにしてください。(P26 参照)

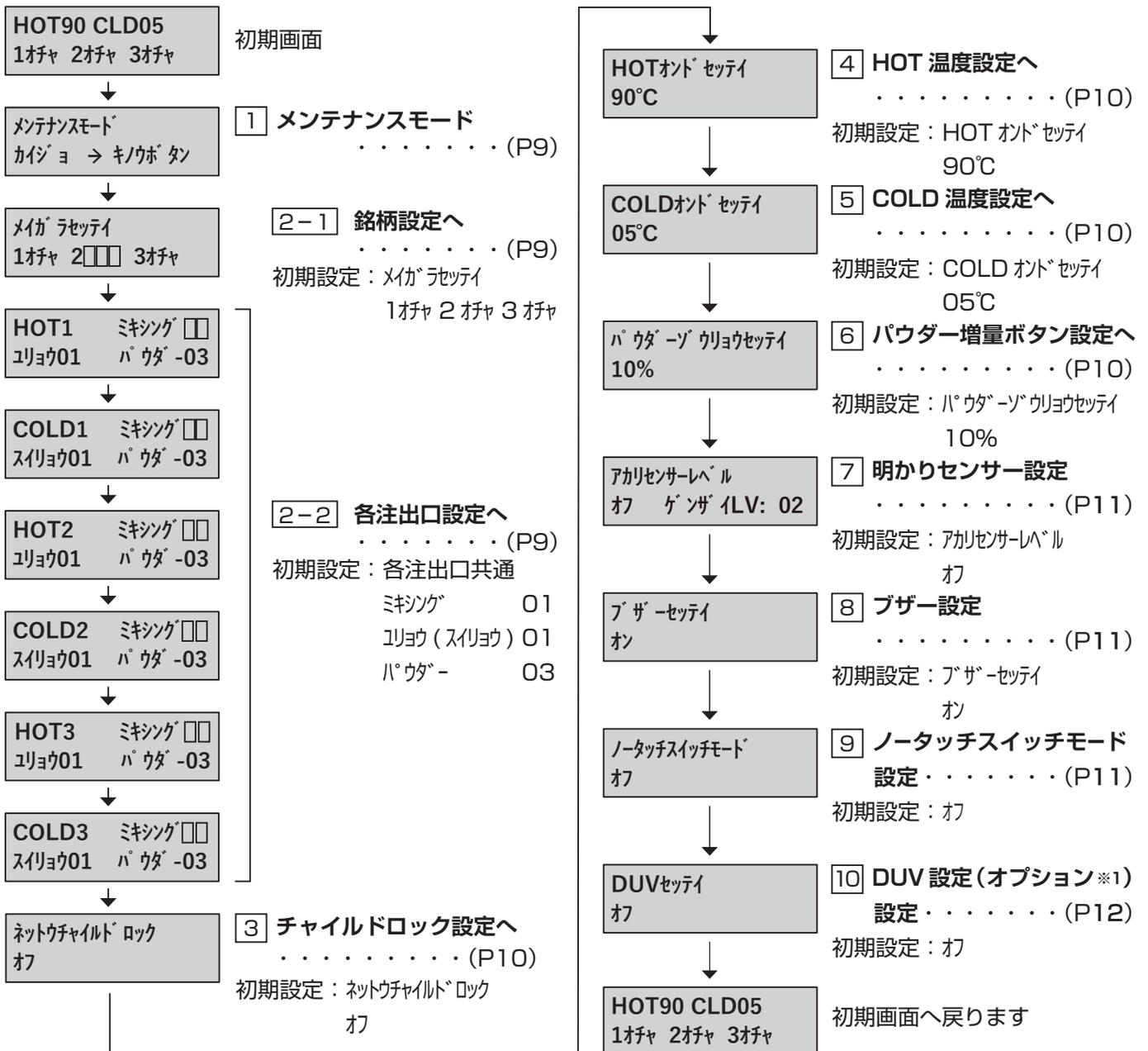
設定方法

本体裏側の電源スイッチを入れてください。(ヒータースイッチはまだ入れないでください)
 本体扉裏側の設定パネルで機器設定を行います。
 機能ボタンを押すと設定画面が表示され、再度機能ボタンで次項目へ移ります。
 (設定画面の状態で 20 秒間操作がないと初期画面に戻ります。)

- ① 表示画面
- ② 機能ボタン
- ③ 選択ボタン
- ④ 決定ボタン
- ⑤ リンスボタン
- ⑥ 補給ボタン



● 設定パネル 設定画面の順序

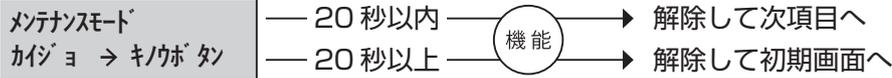


※設定変更時、選択状態の項目が□で点滅します。 ※1 DUVオプション搭載モデルのみ表示されます。



1. メンテナンスモード

メンテナンスモードを機能させます。メンテナンスモードでは誤操作を防止するためLEDが消灯し、前面ボタンの操作ができなくなるなど一部機能が停止します。メンテナンスモードで30分経つと、解除して初期画面へ戻ります。



2. 注出設定

各注出口の設定を行います。設定方法はHOT、COLD及び各注出口ともに同じです。

1

銘柄設定

使用するパウダー（お茶またはコーヒー）を選択ボタンを押して選択します。

「コーヒー」…泡等が残ってミキシングボウルが汚れやすい為、ミキシングボウル内を濯ぐ工程を追加します。



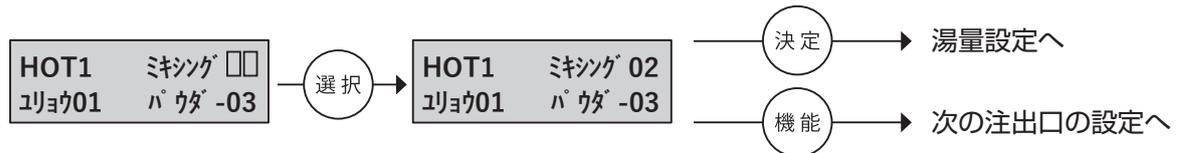
2

各注出口の設定

【ミキシング延長時間設定・・・1～10段階 0～4.5秒間(0.5秒刻み)】

ミキシングの時間を選択ボタンを押して選択します。数値を1増やすとミキシングボウルにパウダー投入完了後から、0.5秒間ミキシング時間が長くなります。

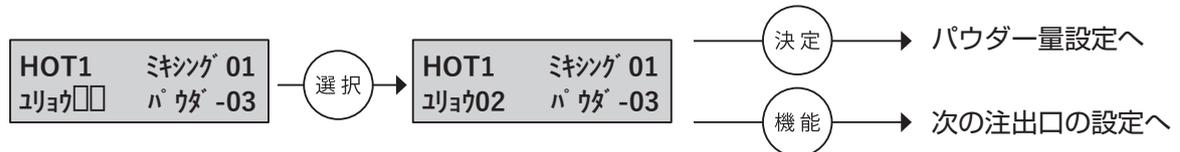
湯量設定へ移る場合は決定ボタン、次の注出口を設定する場合は機能ボタンを押します。



【湯量(水量)設定・・・1～9段階 約80ml～約160ml】

湯量、水量を選択ボタンを押して選択します。数値を1増やすと注出量は約10ml増えます。

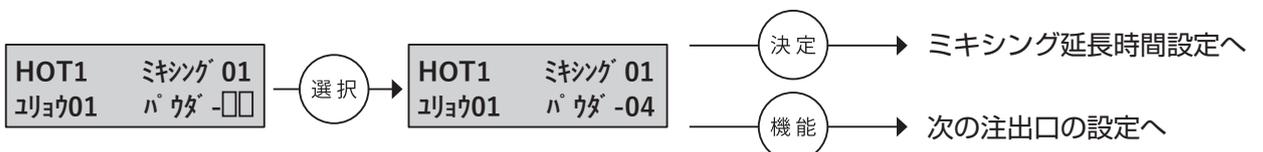
パウダー量設定へ移る場合は決定ボタン、次の注出口を設定する場合は機能ボタンを押します。



【パウダー量設定・・・1～12段階 約0.4g～2.6g】

パウダー量を選択ボタンを押して選択します。数値を1増やすと約0.2g増えます。(パウダーの粒度により投入される量は変化することがありますのでご注意ください。)

ミキシング延長時間設定へ移る場合は決定ボタン、次の注出口を設定する場合は機能ボタンを押します。



設定方法

3. チャイルドロック設定

熱湯注出時のチャイルドロック設定を行います。

HOT 1～3 ボタン及び熱湯ボタンで熱湯を注出する場合に、設定した秒数の間ボタンを押し続けないと注出されません。

設定秒数を選択ボタンを押して選択し、決定ボタンを押します。

(選択ボタンを押すごとに オフ→1ビョウ→2ビョウ→3ビョウ→オフ の順番で切り替わります)

チャイルドロックの設定をした場合は、初期画面に「LOCK」の表示が出ます。



4. HOT 温度設定

温水の温度設定を行います。

[温水温度設定・・・3段階 80℃、85℃、90℃]

(加熱する目標設定値ですので、常にこの温度で注出されるものではありません)

設定温度を選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。



5. COLD 温度設定

冷水の温度設定を行います。

[冷水温度設定・・・3段階 12℃、8℃、5℃]

(冷却する目標設定値ですので、常にこの温度で注出されるものではありません)

設定温度を選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。



6. パウダー増量ボタン設定

パウダー増量ボタンを押して注出した時のパウダー増量割合の設定を行います。

[パウダー増量割合・・・5段階 10%、15%、20%、25%、30%]

パウダー増量割合を選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。





7. 明かりセンサー設定

明かりセンサーの検知レベルを設定します。明かりセンサーを使用すると、本体周辺の明るさが検知レベル以下の状態が10分続いた場合に省電力モード（ナイトスリープモード）になります。（本体周辺の明るさが検知レベル以上になれば復帰します。）

【検知レベル設定・・・5段階 オフ、10、20、30、40、50】

検知レベル設定を選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。

※ゲンザイLVの表示は現在の本体周辺の検知レベルを表示しています。（明るいほど数値が大きくなります）



明かりセンサーと省電力モード（ナイトスリープモード）

本体の明かりセンサーが周囲の明るさを設定した検知レベル以下で10分以上検知した(暗くなった)場合、省電力モードに移行します。

※周囲が明るくなると通常モードに復帰します。

省電力モード

- ・本体扉表面のランプ（LED）が全て消灯
- ・本体扉表面のボタンが無効（反応しない）
- ・製品内部のタンク内の湯温設定を60℃に変更



明かりセンサー

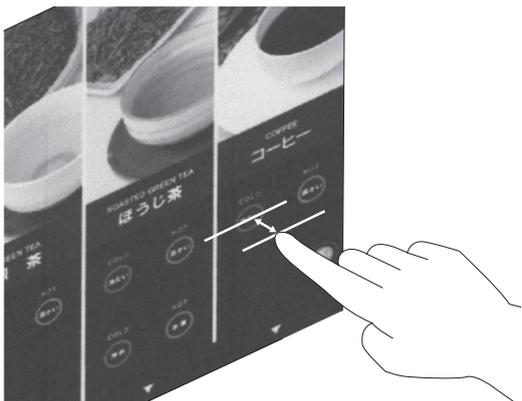
8. ブザー設定

ブザー音のオン/オフの設定をします。

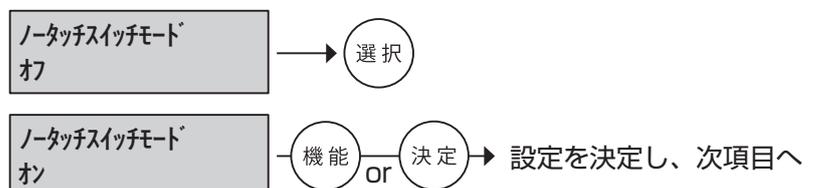
ブザー音のオン/オフを選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。



9. ノータッチスイッチモード設定



ノータッチスイッチモードに設定した場合、機体に触れなくてもボタン操作ができます。





10. 注出口 DUV 設定 (オプション)

注出口 DUV 殺菌のオン/オフの設定をします。

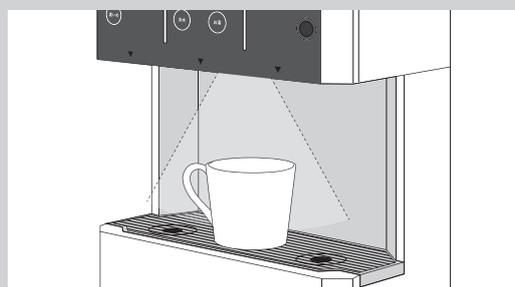
注出口 DUV 殺菌のオン/オフを選択ボタンを押して選択し、機能ボタンまたは決定ボタンを押します。



DUV 殺菌 (Deep Ultra Violet - 深紫外線 -)

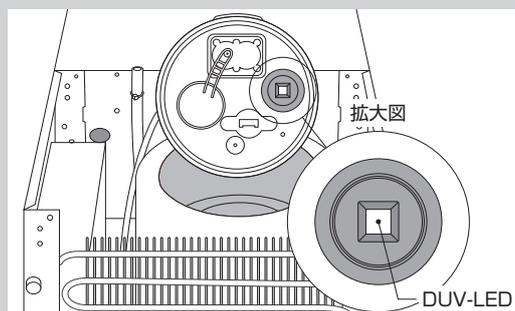
注出口殺菌システム (オプション)

注出口付近より、菌やウイルスに強い殺菌力を有する DUV (UV-C 275nm) を注出中に照射し、カップと飲料を同時に殺菌します。



内部タンク殺菌システム

内部タンクに DUV-LED (UV-C 275nm) を搭載し、貯めている水に照射し殺菌します。



DUV 照射口は覗き込まないで下さい。

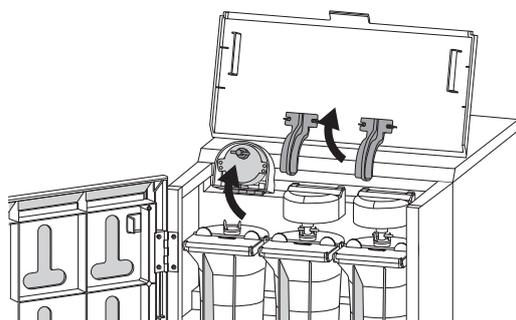
パウダーの補給方法

メンテナンス動画



1

扉を開ける



本体扉を開けて、本体フタとキャニスタモーターを上側に上げます。

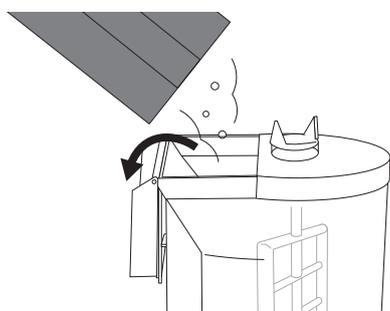


注意

パウダーが湿気を帯びないように中板を温めています。
触るとやけどをする恐れがありますので
ご注意ください。

2

パウダーをキャニスタの中に入れる



キャニスタのフタを開けパウダーをこぼさないようにキャニスタの中に入れます。

※ご使用されるパウダーに関してはお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

3

キャニスタ上部の軸を半時計回りに指で回す

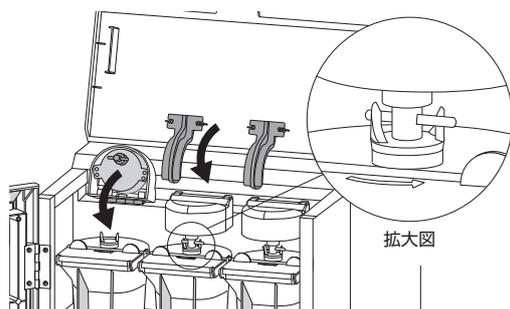


キャニスタのフタを閉め、ミキシングボウルの中にパウダーが落ちるまでキャニスタ上部の軸を反時計回りに指で3~4回転程回してください。(キャニスタの中が空の時はパウダーがキャニスタの先端部分まで入らない場合がある為。)

※パウダーの粒子が細かくて重い場合、キャニスタモーターが回らずにコンコンコンと異音が出ることがあります。その場合はキャニスタ内のパウダーを減らしてください。

4

キャニスタモーターと本体フタを下げる



この時、左図のようにモーターの軸がキャニスタの軸と
かみ合うようにキャニスタの軸を回してください。

給水タンクの給水方法

1

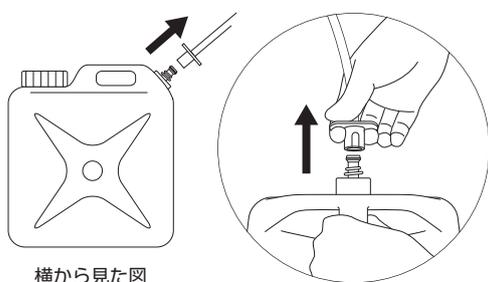
設定パネルの表示画面に「タンクナイスナシ」表示が出る



給水タンクの水がなくなると注出ボタンのランプが全て点滅し、設定パネルの表示画面に「タンクナイスナシ」表示が出ます。

2

ジョイントを外す

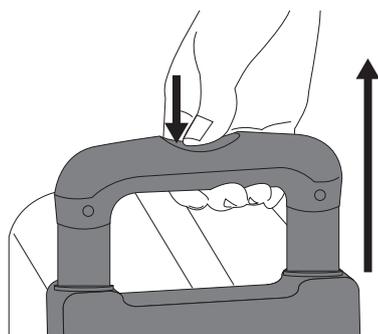


横から見た図

キャビネットの扉を開けて給水タンクを引っ張り出しジョイントを外します。

3

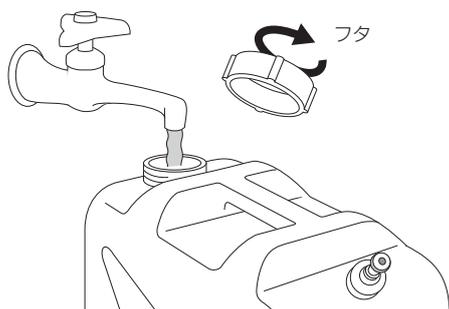
取っ手を引っ張り上げる（オプション）



オプションのキャリーカートは取っ手のボタンを押し、取っ手を引っ張り上げると取っ手が伸びます。

4

フタを外して水を給水する

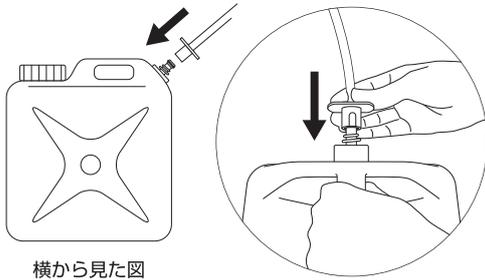


給水タンクを水道まで運び、給水タンクのフタを外して給水します。



5

本体に収納する



横から見た図

給水タンクのフタをしっかり締め、逆の手順でジョイントを嵌めて本体に収納してください。

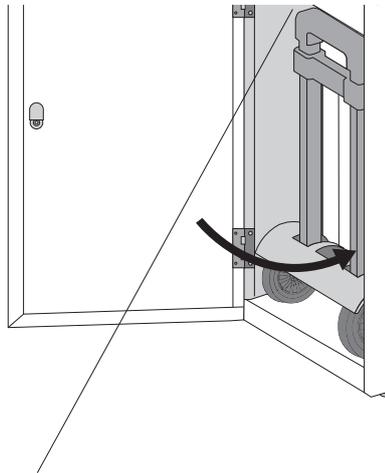


注意

ジョイントの差し込みが浅いと水が吸い上げられませんので奥まで確実に差し込んでください。

6

キャビネットの扉を閉める



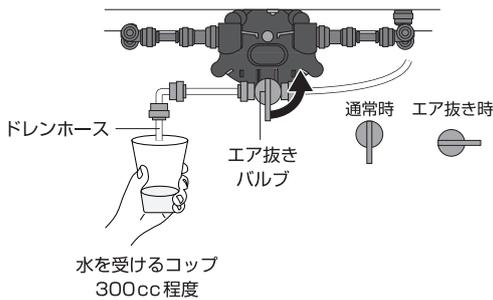
キャビネットの扉を閉めると、自動で本体内のタンクに給水が始まります。また、設定パネルの補給ボタンを押しても給水が始まります。

※初めて使用する時など本体内に水がない状態では本体裏側のヒータースイッチを入れないでください。必ず、本体に給水タンクから本体へ給水後に湯注出ボタンを押して注出口から水が出る事を確認してからヒータースイッチを入れてください。

※給水直後は、注出される水（お湯）がぬるいことがあります。

※給水タンクから本体へ給水が途中で止まる（タンクナイズナシの表示が消えない）場合はもう一度キャビネットの扉を開閉するか、補給ボタンを押して給水を行ってください。

キャビネット内（※何回補給しても止まる場合）



水を受けるコップ
300cc程度

※何回補給しても「タンクナイズナシ」の表示が出て注出ボタンが点滅する場合は 300cc 以上入る容器を用意し、ポンプ停止時にキャビネット扉を開けて中奥にあるエア抜きバルブのドレンホースの先にセットして下さい。バルブのレバーを水平に倒し、ドレンホースから出た水を容器で受けてください。ドレンホースから水が出なくなったのを確認後、バルブのレバーを垂直に戻し、再度給水を行ってください。

※バルブを開いた時、水やカーボン（浄水フィルターの活性炭）が出ることがありますが、性能・品質上影響はありません。



禁止

製品の内部に水がかからないようにご注意ください。火災や感電の原因になる恐れがあります。



注意

万一製品の内部に水がかかってしまった場合は、差し込みプラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。

排水タンク(オプション品)の排水方法

1

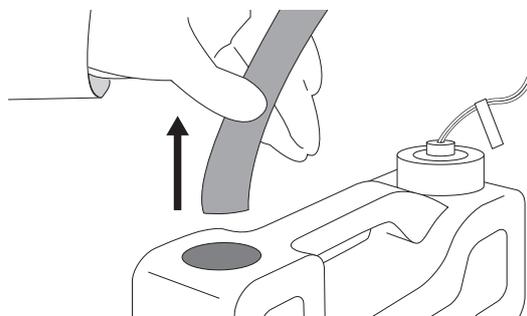
設定パネルの表示画面に「ハイスタンク マスイ」表示が出る



排水タンクの中が満水になると注出ボタンのランプが全部点滅し、設定パネルの表示画面に「ハイスタンクマスイ」表示が出て注出不能になります。

2

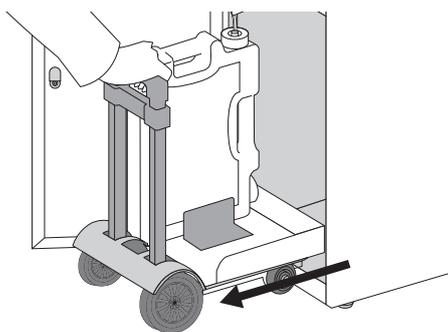
排水チューブを抜く



排水チューブを排水タンクから抜いてください。

3

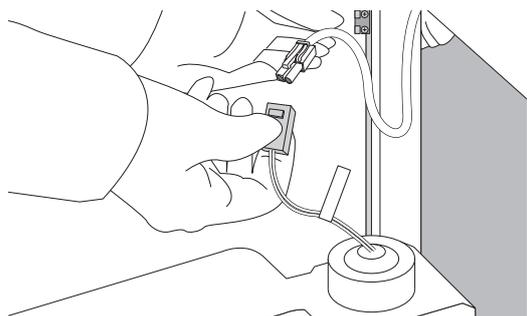
排水タンクをキャビネットから引き出す



カップステージを外して排水タンクをキャビネットから引き出してください。

4

電線のコネクタを外す

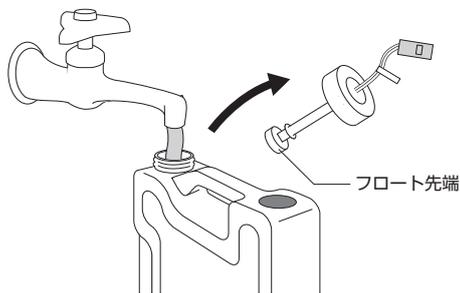


排水タンクのキャップについている電線のコネクタを外してください。



5

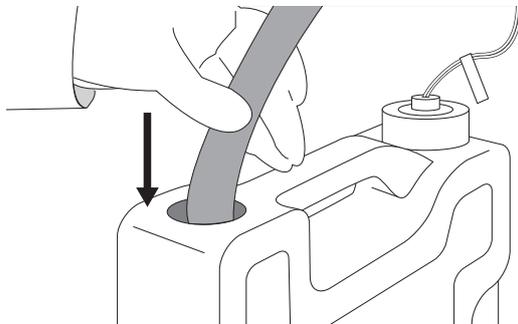
排水タンク内の水を捨て水道水で濯ぐ



排水タンクのキャップを外して中の水を捨てた後、排水タンク内及びフロートの先端を水で濯いでください。

6

コネクタを接続し排水チューブを差し込んでキャビネットに戻す



排水タンクのキャップを締めてコネクタを接続し、排水チューブを差し込んでキャビネットに戻してください。



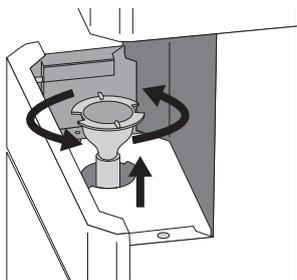
注意

キャップのコネクタは、必ず忘れずに接続してください。排水タンクの下キャップはしっかり閉めてください。(排水が漏れるおそれがあります。)

排水ロート（オプション品）のお手入れ方法

1

排水ロートを真上に引き抜く



排水ロートを反時計回り回転させて、排水チューブがついたまま真上に引き抜いてください。

2

流水で濯ぐ

排水ロートと排水チューブの内側を流水で濯いでください。

3

逆の手順で取り付ける

よく水を切ってキャビネットの扉を開け、排水チューブを排水タンクに差し込んで逆の手順で取り付けてください。

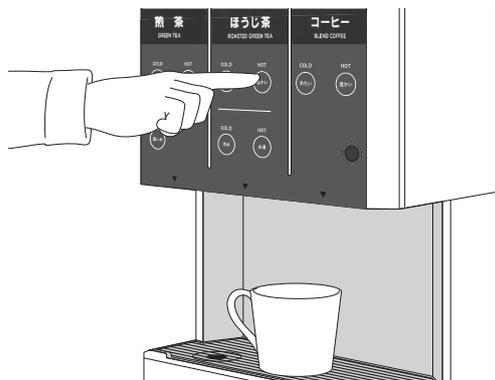
注出方法

メンテナンス動画



1

お茶・コーヒー



お好みの銘柄の注出口の下にカップを置いて、HOT または COLD のボタンを押してください。設定内容に従って注出されます。

※注出中はボタンと注出口のランプが点滅します。終了すると点灯に戻ります。注出終了を確認してからカップをお取りください。

2

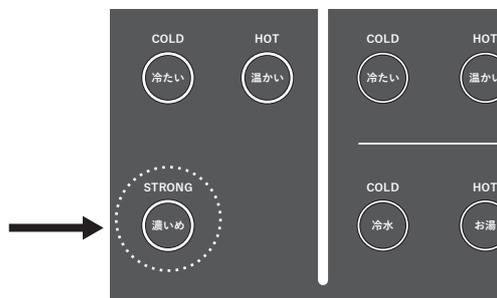
熱湯・冷水

湯水注出口(中央)の下にカップを置いてください。熱湯(冷水)注出ボタンを押している間注出されます。

※熱湯・冷水ボタンは押し続けた場合、60秒で一度停止します。続けて注出する場合は一度指を離してもう一度ボタンを押して下さい。

3

パウダー増量ボタン



パウダー増量ボタンを注出前に押すと濃いめのランプが点灯し、次に注出する銘柄のパウダーを増量して注出します。(増量割合は設定画面で設定します。)注出中に押しても増量しませんので、必ず注出前に押してください。1杯注出するごとにパウダー増量ボタンはキャンセルされますので、増量を行って注出する度に押してください。



注意

- チャイルドロックが設定してある場合、HOT ボタン、熱湯ボタンは設定した秒数の間ボタンを押し続けないと注出されません。
- 注出中はカップに触れたり、カップステージの上に手を入れないでください。
- 注出口から熱湯が出ます。やけどにご注意ください。

メンテナンスサイト

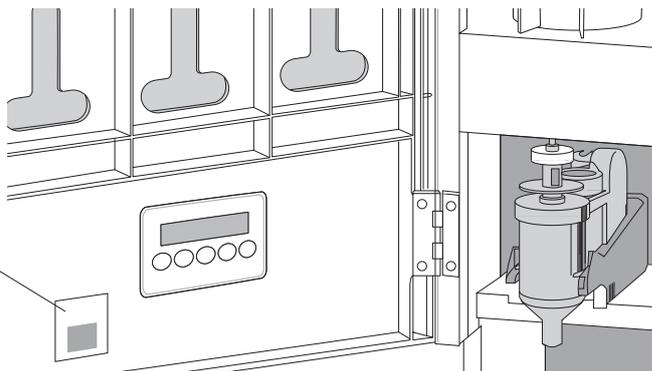
お客様が簡単にメンテナンスできるようにマニュアル動画や取扱説明書、トラブルシューティング等をインターネットで公開しています。

下記のURLよりアクセスしていただくか、本体扉裏のQRコードよりアクセスしてください。



〈メンテナンスサイト URL〉

<https://tanica.jp/cutea/cutea-maintenance/>



(1) メンテナンス動画



清掃・パーツの交換・設置・設定・引上のマニュアル動画を公開しています。(全17種類)



- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)

(2) 取扱説明書



付属の取扱説明書を公開しています。

(4) 製品仕様



本体画像や仕様を公開しています。

(3) トラブルシューティング



不具合の症状や状態を選択し、動画や図解で案内します。

(5) サービスパーツリスト



サービスパーツを画像付きで案内します。

お手入れ方法 (メンテナンスモードにしてから行ってください…P9参照)

1. 外観清掃

1

製品本体はよく絞った布巾で拭いてください

製品本体はよく絞った布巾で拭いてください。汚れが落ちにくい時は中性洗剤で拭いてから、乾いた布でよく拭き取ってください。(誤動作の原因になりますのでボタン面は濡らしたままにしないでください。)



禁止

お手入れにはシンナー、ベンジン、クレンザー、たわし等を使用しないでください。表面に傷がついたり変色したりする場合があります。



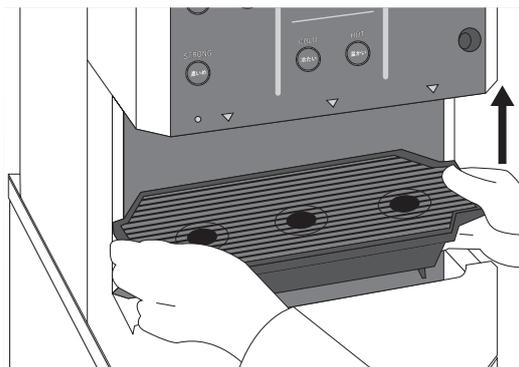
注意

本体は水につけたり、水をかけたりしてのお手入れはしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

2. カップステージ (毎日)

1

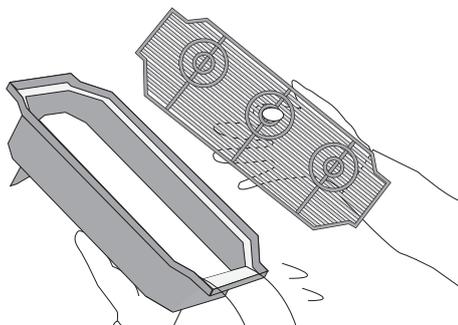
カップステージを引き上げる



カップステージの中に水が溜まったら、カップステージを上引き上げて抜いてください。

2

中の水を捨てる



カップステージのフタを外して、中の水を捨ててください。(排水タンクオプション時除く)

3

カップステージとフタを中性洗剤で洗う

カップステージとフタを中性洗剤で洗い、よくすすいで水をしっかり拭き取って、元の位置へ戻してください。

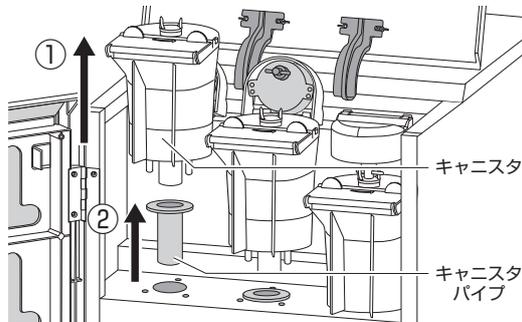


3. キャニスタパイプ（毎日）・キャニスタ（必要時）

キャニスタの中のパウダーを使い切ったら、新しいパウダーを入れる前に洗浄してください。

1

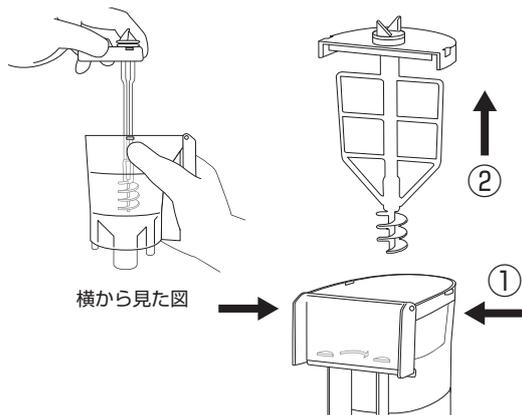
製品本体から取り外す



製品本体からキャニスタとキャニスタパイプを取り外してください。

2

キャニスタの軸部分を引き抜く



キャニスタのフタ部分を開け、左図のキャニスタの側面部分を同時に押して、キャニスタの軸部分を引き抜いて外してください。

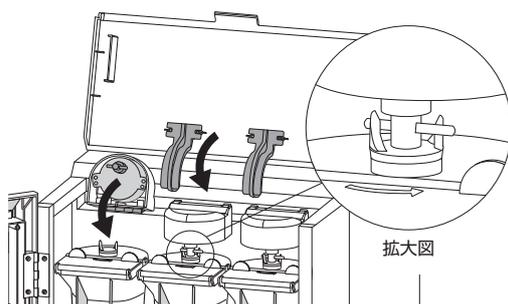
3

部品全てを中性洗剤で洗う

部品は全て中性洗剤で洗い、よくすすいで水をしっかり拭き取ってください。水をしっかり拭き取らないと、新しいパウダーを入れたときにパウダーが固着し、キャニスタが回らずにパウダーが出なくなることがありますのでご注意ください。（パウダーが固着している場合は、ぬるま湯に浸け置きしてください。）

4

元のように組み立てる



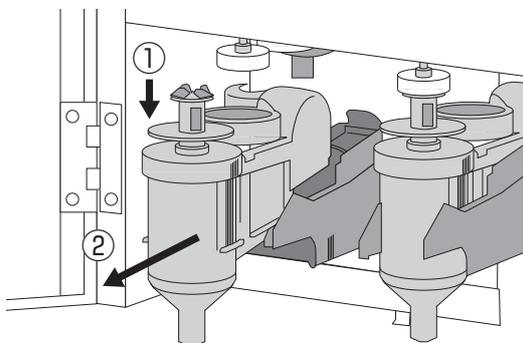
元のように組み立て、製品本体に戻してください。この時、フタについている軸に無理な力をかけないでください。

お手入れ方法 (メンテナンスモードにしてから行ってください…P9参照)

4. ミキシングボウル (毎日)、排気ダクト (必要時)、ファンフィルター (必要時)

1

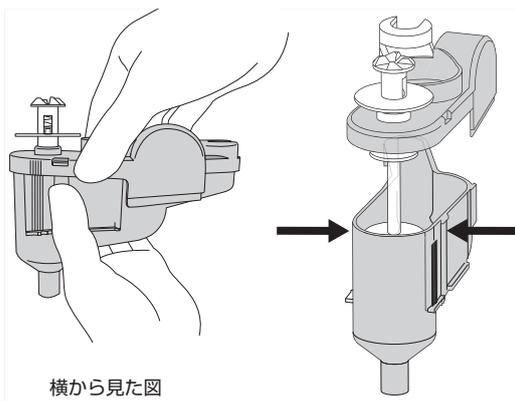
ミキシングボウルを引き抜く



ミキシングボウルのミキシング軸のつばを押し下げてミキシングボウルを引き抜いてください。

2

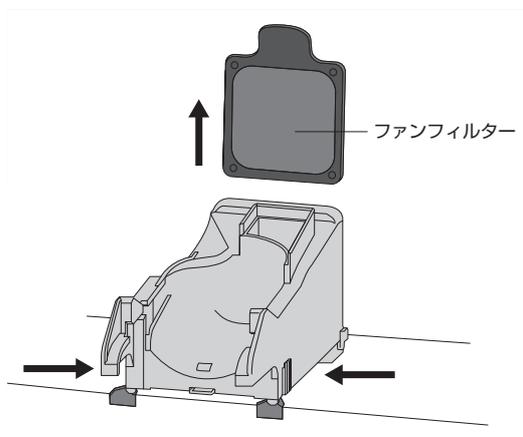
フタ部分を分離させる



ミキシングボウルの左図横矢印部分を押し、ミキシングボウルのフタ部分を分離させてください。各部品を中性洗剤で洗い、よくすすいで水をしっかり拭き取り、元のように組み立ててください。

3

排気ダクトを外す



排気ダクトの左図横矢印部分を押し、排気ダクトを外してください。ファンフィルターを引き抜いて、網の汚れを水またはぬるま湯で洗い流してください。

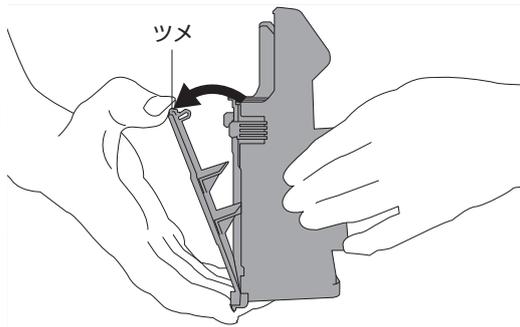
その後、ファンフィルターを乾いた布で拭いてください。



強い力をかけると網が破損することがありますのでご注意ください。



4 排気ダクトを分解し、中性洗剤で洗う

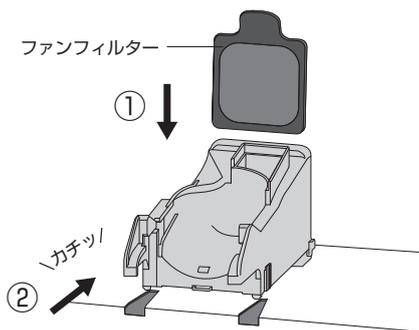


排気ダクト底のツメを押して排気ダクトを分解し、中性洗剤で洗い、よく濯いだ後に水分をしっかりと拭き取って元のように組み立ててファンフィルターを差し込み本体にセットしてください。

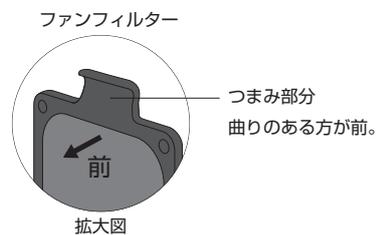


排気ダクトは本体にしっかり取り付けてください。位置がずれて嵌め合いが悪いと注出中の異音の原因になります。

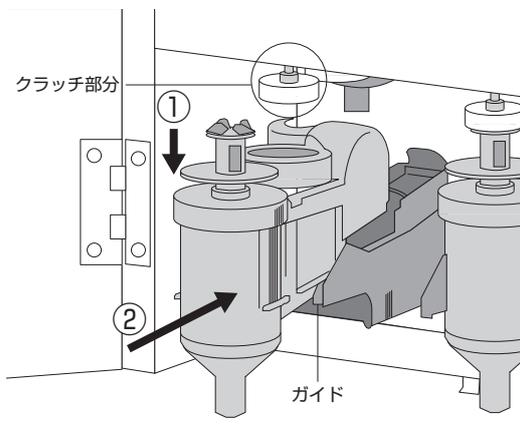
5 ファンフィルターを差し込み、排気ダクトを差し込む



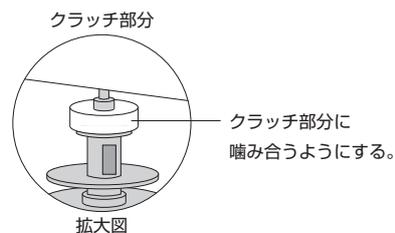
ファンフィルターを差し込んだ排気ダクトを元の位置に置き、カチッと音が鳴るまで奥に差し込んでください。



6 ミキシングボウルを、排気ダクトに差し込む



ミキシングボウルを排気ダクトのガイドの上ののせて差し込んでください。その際にミキシング軸のつばを押して下に下げながら差し込み、ミキシングボウルと本体のクラッチ部分がしっかり噛み合うように調整してください。



ミキシング軸のクラッチ部分はしっかり取り付けてください。位置がずれて嵌め合いが悪いとミキシングが回らなかったり注出中の異音の原因になります。

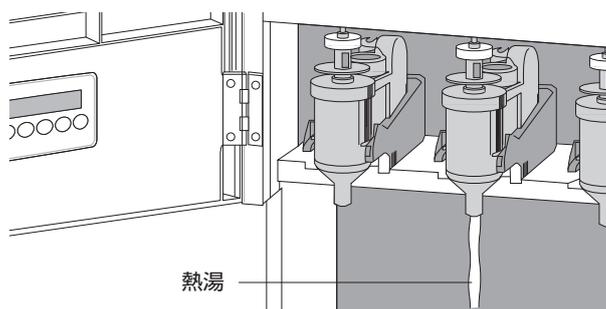
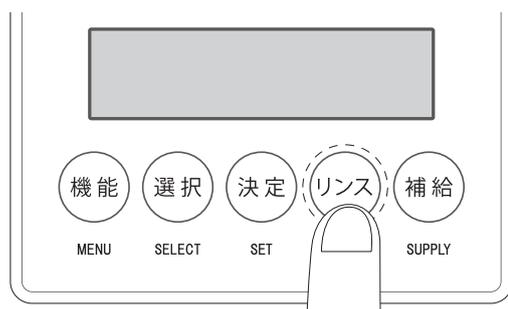
お手入れ方法

6. リンスクリーニング

ミキシングボウル内を湯で洗浄します。

- 1 カップステージ内を空にする**
カップステージ内を空にしてください。

- 2 設定パネルのリンスボタンを 1 秒間押す**



本体扉裏の設定パネルのリンスボタンを 1 秒間押します。

※各ミキシングボウル内に順番に湯を流し、ミキシングを行って内部を洗浄します。



注出口から熱湯が出ますので、ご注意ください。
※約 25ml が 3 回（合計約 75ml）注出されます。

- 3 リンス終了後カップステージを取り出す**

カップステージを取り外し、中の水を捨てセットし直してください。（排水タンクオプション時除く）



7. 浄水フィルター（エバピュア 2DC）交換

キャビネットの奥にある浄水フィルターを半年に一度交換してください。

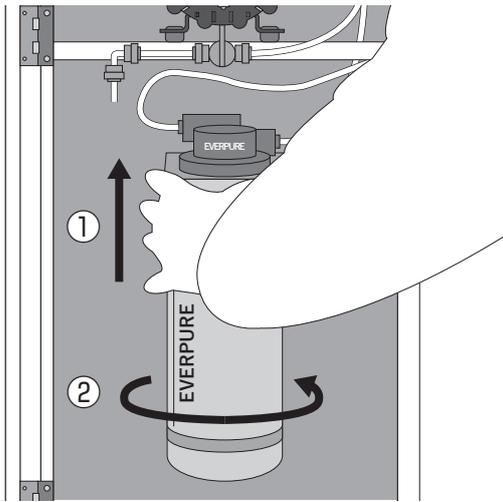
1

浄水フィルターを外す

浄水フィルターを左に回してから下に抜くとフィルターが外れます。

2

新しい浄水フィルターを取り付ける



新しい浄水フィルターを逆の手順で取り付けてください。



水が落ちることがありますので、
ご注意ください。

コンプレッサーの点検

フロン排出抑制法により、3ヶ月に1回「異常音」や「油の漏れ」や「冷却の状況（冷水の温度）」などを、確認する簡易点検を実施していただく必要があります。業者等が点検する必要がなく、製品の外側から管理者（担当者）の方が確認してください。実施後は簡易点検記録表に点検の内容を記入してください。

点検日	点検者	点検日	点検者



8. 長期保管時・引き上げ時のお手入れ

1 ヒータースイッチをオフにする

製品の裏側にあるヒータースイッチ（赤）をオフにしてください。
1 時間程度放置して中の温度を下げてください。

2 キャニスタ内のパウダーを出す

キャニスタ内のパウダーが入る大きさのビニール袋を用意し、本体からキャニスタを取り出します。キャニスタの軸を外し、袋にパウダーを出してください。取り出したパウダーは冷蔵庫で保管してください。

3 給水タンクを外し、お湯が出なくなるまで熱湯ボタンを押し続ける

給水タンクを外し、熱湯ボタンをお湯が出なくなるまで押し続けてください。（注出口2に耐熱性のある容器を置いて下さい。約 800ml の熱湯が出ます。やけど・溢れに注意してください。）
60秒で一度注出が停止します。一度指を離し再度ボタンを押し続けてください。

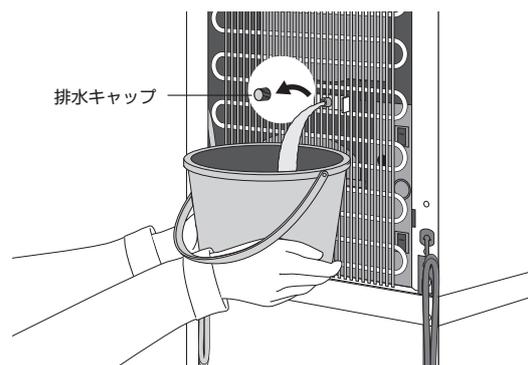
4 水が出なくなるまで冷水ボタンを押し続ける

冷水ボタンを水が出なくなるまで押し続けてください。（注出口2に容器を置くかカップステージにて、溢れに注意して受けてください。）
60秒で一度注出が停止します。一度指を離し再度ボタンを押し続けてください。

5 差し込みプラグを抜く

電源スイッチ（黒）をオフにしてコンセントから差し込みプラグを抜いてください。

6 湯タンク内の湯を出し切る



3 L 以上入る耐熱性のある大きめのバケツを用意し、製品の裏側にある排水キャップを外して湯水タンク内の湯を出し切ってください。この時、排水キャップが付いていたパイプから勢いよく湯が出ますのでやけどにご注意ください。



パイプから湯が出ます。
やけどにご注意ください。



● 修理を依頼される前に下記の点をご確認ください。

1. 電源が入らない（ボタンランプが消灯、表示画面が出ない）

- 差し込みプラグがコンセントに差さっていますか
- 本体裏面の電源スイッチは入っていますか
- コンセントのブレーカーが落ちていませんか
- 明かりセンサーがオンになっており、且つ室内の明かりが暗くはありませんか・・・ P 11 参照
- メンテナンスモードになっていませんか・・・ P 9 参照

2. 飲料が出ない（ボタンランプが点滅）

- 「タンクナイミズナシ」の表示が出ていませんか
- 給水タンクのジョイントは奥まで入っていますか・・・ P 15 参照
- 給水タンクの水を入れ替えたときにキャビネットの扉を閉める。または補給ボタンを押しましたか・・・ P 15 参照
- エア抜きのバルブが垂直になっていますか・・・ P 15 参照
- 排水タンクが満水になっていませんか・・・ P 16 参照
- チャイルドロックが有効になっていませんか・・・ P 10、18 参照

3. 飲料の味がおかしい（パウダーが出ない、味が濃い、薄い等）

- キャニスタの中にパウダーが入っていますか・・・ P 13 参照
- キャニスタが空の状態からパウダーを供給した場合に、キャニスタの軸を回して先端までパウダーを送り込んでありますか・・・ P 13 参照
- キャニスタの中やスクリュ部分でパウダーが固まっていたり、変質したりしていませんか・・・ P 21 参照
- パウダー量は正しく設定されていますか・・・ P 9 参照
- 銘柄は正しく設定されていますか（コーヒーのパウダーを使用する際にコーヒーの設定になっていますか）・・・ P 9 参照
- 湯量（水量）は正しく設定してありますか・・・ P 9 参照
- ストロング（パウダー増量）ボタンを押していませんか・・・ P 18 参照
- ミキシングボウル内にパウダーが固着していませんか・・・ P 22 参照
- ミキシングボウルが正常に取り付けてあり、注出時に回転していますか・・・ P 23 参照

4. 温度がぬるい

- HOT・COLD の温度設定がお好みの温度に設定されていますか
- 連続で何杯も注出した後ではありませんか
- 本体裏面のヒータースイッチはオンになっていますか
- 電源が入った直後または製品内の水が空の状態から給水した直後ではありませんか・・・ P 15 参照
- 省電力モード（明かりセンサーオン）から復帰直後ではありませんか・・・ P 11 参照

5. 注出中に異音がする

- ミキシングボウルのクラッチはしっかり嵌っていますか・・・ P 23 参照
- 排気ダクトはしっかり取り付けられていますか・・・ P 23 参照
- キャニスタ内にパウダーが固着または粒度が細かくて重いパウダーが大量に入っていないですか・・・ P 13 参照
- ミキシングボウル内にパウダーが固着していませんか・・・ P 22 参照
- ミキシングボウルが正常に取り付けてあり、注出時に回転していますか・・・ P 23 参照

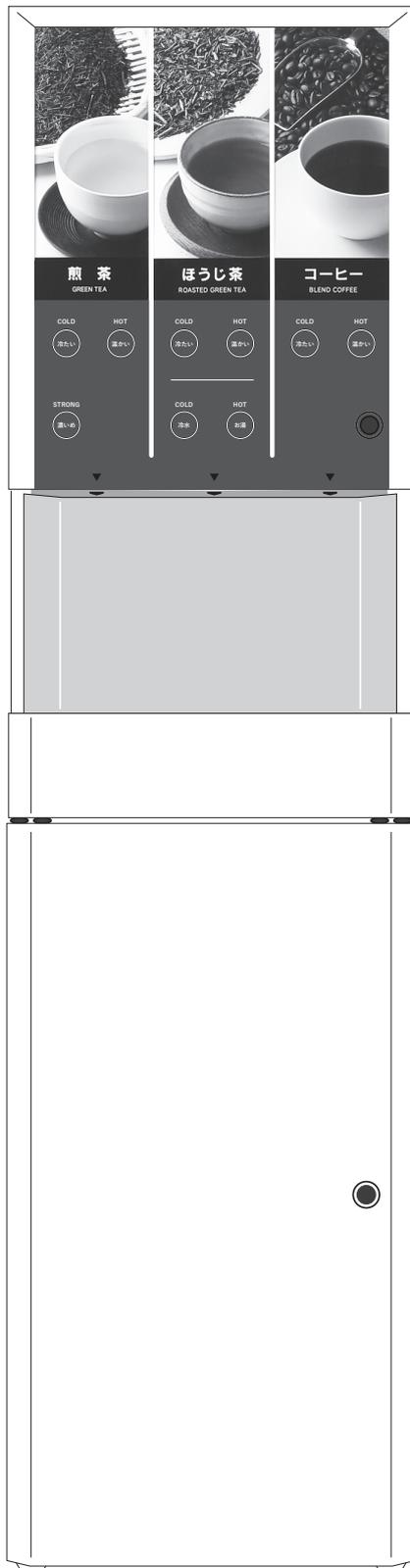
6. 水が漏れる

- 本体とキャビネットのチューブの差し込みをご確認ください・・・ P 7 参照

7. 注出が止まらない

- 表面のボタンの周りが濡れていませんか・・・ P 20 参照

仕様



項目	内容
型番	本体：TS-1W (ホワイト)、TS-1B (ブラック) キャビネット：CB-1W (ホワイト)、CB-1B (ブラック)
外形寸法	全体：幅 330mm 高さ 1278mm 奥行 495mm
	本体：幅 330mm 高さ 663mm 奥行 450mm
	キャビネット：幅 330mm 高さ 615mm 奥行 495mm
重量	39kg (本体 22.5kg 下部キャビネット 16.5kg)
梱包寸法	本体：幅 420 mm 高さ 690 mm 奥行 555 mm (170 サイズ) 25.5kg
	キャビネット：幅 420mm 高さ 640mm 奥行 605mm (170 サイズ) 19.5kg
電源	AC100V 50/60Hz
コード長	1.8m
消費電力	温水 600W
	冷水 105W
冷水タンク	SUS304 2.4L
冷却冷媒	R-134a
温水タンク	SUS316 1.8L
給水タンク	10L カセットタンク
排水タンク	3L カセットタンク (水位センサー付き) ※オプション
飲料種類	粉末 HOT 飲料× 3 粉末 COLD 飲料× 3 湯× 1 冷水× 1
キャニスタ (原料ボックス)	470ml × 3 ヶ
カップステージ (貯水量)	1.5L
浄水フィルター	エバピュア 2DC
衛生機能	注出口 DUV 殺菌 ※オプション 内部タンク DUV 殺菌 ノータッチスイッチ (ON / OFF 可)
その他機能	自動洗浄 (リンス) 機能、省電力 (ナイトスリープ) 機能、ストロング (パウダー増量) ボタン、 チャイルドロック

商品に関するお問合せはこちら

タニカ電器販売株式会社 〒507-0027 岐阜県多治見市上野町5丁目5番地 FAX:0572-22-7999

 **0120-849-610** 午前9:00～午後5:00
土日・祝日除く

